

市長記者会見資料

開催日：令和6年1月23日（火）

14時00分から

- 1 市民協働でつくる まちづくりの拠点
～リビングルームのように居心地の良いコミュニティの拠点～
- 2 「うじの生活おうえんクーポン」の販売・利用期間を延長

市民協働でつくる まちづくりの拠点 ～リビングルームのように居心地の良いコミュニティの拠点～

令和6年1月23日
宇治市総務・市民協働部市民協働推進課
課長 本間（0774-20-8721）

「公共施設の将来像」のモデルケースとなる市民協働推進拠点の整備に向けて、9月から実施してきた「市民協働でつくるまちづくりの拠点ワークショップ」や公共施設整備に関する意識調査を踏まえ、中宇治地域市民協働推進拠点基本ビジョンを定めました。



基本ビジョン

中宇治のコミュニティ・リビング

～市民が主役の交流・連携・学習・協働がうまれる、まちなかのリビングスペース～

必要とする機能と想定される施設:

出会いと自由な憩いの場: 交流スペース、芝生広場、テナント(カフェや物販)など
子育て支援の場: 図書コーナー、広場、乳幼児に配慮した設備 など
多世代交流の場: オープン交流スペース、コミュニティカフェ、ホール など
趣味・遊び・学びの場: レンタルスペース、シェアキッチン、自習室 など

(※今後の検討により変更の可能性あり)

場所:

菟道ふれあいセンター敷地

中宇治地域の地理的な中心であり、住宅地や商店街と近い
ため、多くの人が集いやすく、誰もが気軽に立ち寄り、世代
を超え様々な人々が出会い、つながることができる場所

今後の進め方:

- ・機能の複合化等による施設規模の最適化や効率的な管理運営、市民サービスの維持・向上など、公民連携の可能性を検討
- ・ワークショップなどを通して市民の皆様と、必要とする機能や運営形態の具体化を進める

「うじの生活おうえんクーポン」の販売・利用期間を延長

令和 6 年 1 月 2 3 日
 宇治市産業観光部産業振興課
 課長 堀江 (0774-39-9621)

販売・利用期間を2月29日(木)まで延長

コールセンター及びサポート窓口(産業
 会館)も延長設置



クーポン概要

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が長引く状況の中、市内事業者の売上向上及び生活者支援を目的に、スマートフォンを活用したプレミアム付きクーポン発行事業を実施

	第1期	第2期
販売期間	10/2~11/29	12/8~1/31 2/29
利用期間	10/2~1/31 2/29	12/8~1/31 2/29
登録店舗数	大型店：92店舗	個店：590店舗
販売数	共通券：70,000セット 個店券：50,000セット	
販売額と 使用金額	1セット5,000円 共通券：1セット=500円×13枚(使用金額6,500円) 個店券：1セット=500円×14枚(使用金額7,000円)	
購入対象者	・宇治市民(市内在住者)	・宇治市民(市内在住者) ・市内在学、在勤者
購入上限	1人各1セットまで	1人各2セットまで

販売状況 ※1/22(月)16:00現在

- ・共通券 68,786セット(残り1,214セット)[販売率:98.3%]
- ・個店券 44,722セット(残り5,278セット)[販売率:89.4%]
- ・友だち登録 37,197人

利用状況 ※1/22(月)16:00現在

- ・共通券 405,113千円(447,109千円)[利用率90.6%]
- ・個店券 263,459千円(313,054千円)[利用率84.2%]